

一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団 2020 年事業計画書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

【基本方針】

当法人は、泉北地区及びその周辺に暮らし、はたらく人たちが幸せに暮らすことができる地域の未来をつくるために、市民や企業の皆様から寄付を集め公益活動を行う団体に助成することで、泉北地区の地域や社会の課題解決や活性化に取り組む市民立の財団である。

人口減少や高齢化、非正規雇用の増大等、切実な社会課題・行政課題が顕在化する中、これらの課題に行政だけでは対応することが困難な状況である。このような状況において、地域や社会の課題解決や活性化に取り組む主体として公益活動を行う団体に対する期待は大きい。しかし、一方で多くの公益活動を行う団体は財政的基盤の脆弱さという課題を抱えており、公益活動を行う団体の活動を地域社会で支える仕組みの整備や、地域主体での公益活動の強化が必要となっている。

このような状況に対応すべく、当法人は、あらゆる人たちが主体的に地域の未来を担い合うために、必要な資源を循環させる仕組みをつくり、地域で支え合う社会を実現することを目的のもと、2020 年度において次の事業を実施する。

1. プログラム開発・資金確保・事業化に向けた相談及び支援事業

(ア) 泉北地区におけるコレクティブインパクト（社会課題解決の新しいモデル事業）の開発

当財団および事業の周知・PRによる新規助成先・事業の発掘及び、泉北地区の持続可能な地域づくりをめざし、地域と時代のニーズをしっかりと把握・反映した事業モデル開発としてコレクティブインパクトの手法を取り入れ、財団としてモデル事業をモデル地域を設定し事業化を行います。実施に当たっては、人的な資源を最大限に活用して、調査研究能力を向上するとともに、産学官との連携・協力を積極的にすすめ、情報発信も積極的に実施していきます。

*コレクティブインパクト・・・異なるセクターにおける様々な主体（行政、企業、NPO、財団など）が、共通のゴールを掲げ、お互いの強みを出し合いながら社会課題の解決を目指すアプローチ

(イ) 公益法人認定取得

公益認定委員会へ今年度中に申請を行います。

(ウ) 調査・研究事業

公益活動を行う団体の資金確保のためのプログラム開発として、主に小学校区での地域円卓会議の推進をサポートします。

2. 助成、融資及び資源の提供事業

(ア) 助成事業開発

効率的な助成管理業務（募集・申請・選考・助成・実行・検証事業等）を開発します。

(イ) 助成事業の成果発表会の実施

今年度開発された助成事業の成果発表会を開催します。

3. 調査研究・普及・啓発活動

(ア) 設立記念事業の実施

当財団設立者である泉北のまちと暮らしを考える財団準備室の寄附者・支援者向けに設立までの報告書及び記念事業を行ないます。

4. 管理業務

(ア) 内部管理体制

公益法人に求められる健全な内部管理体制をめざし、規程類の整備および見直しを進めるとともに、その理解と遵守を図るため、マニュアル類の整備等を実施します。また、必要に応じて業務の見直しを行うとともに、委員会等の役割や構成などを検証し、より一層有効かつ効率的な組織を目指します。

(イ) 賛助会員

安定的な財源確保および本財団支援者の拡充のため、法人会員および個人会員の獲得・維持に努めます。

(ウ) 情報発信

ホームページ・SNS やアニュアル・レポートの内容充実を図り、より多くの方にわかりやすく本財団および本財団の事業を知っていただくように努めます。また、報道機関への情報発信も活発に行い、認知度向上に努めます。

(エ) 財務運営

中長期的視点を持った財務運営を心がけるとともに、経費管理の厳格化に努め、健全な財務運営の維持・向上を図ります。

以上